



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部长

(氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 5,542 | 10.8 | 349 | 73.4 | 367 | 78.6 | 222 | 99.9 |
| 27年3月期第1四半期 | 5,000 | △3.6 | 201 | △23.4 | 205 | △22.7 | 111 | △16.8 |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 241百万円 (102.0%) 27年3月期第1四半期 119百万円 (△7.0%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 21.44 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 10.73 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 14,306 | 8,747 | 61.1 | 843.24 |
| 27年3月期 | 14,695 | 8,979 | 61.1 | 865.60 |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 8,747百万円 27年3月期 8,979百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 11,250 | 3.3 | 750 | 5.3 | 750 | 3.9 | 480 | 16.2 | 46.27 |
| 通期 | 23,700 | 3.2 | 2,150 | 5.7 | 2,150 | 3.9 | 1,390 | 6.5 | 134.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期1Q | 10,373,840 株 | 27年3月期 | 10,373,840 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期1Q | 511 株 | 27年3月期 | 473 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期1Q | 10,373,358 株 | 27年3月期1Q | 10,373,382 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における事業環境は、インバウンド（訪日外国人旅行者）の増加の勢いは依然として力強く推移し、また、消費マインドは消費税増税の影響が一巡し、持ち直しの兆しが見られます。一方で企業間競争の激化、原材料価格の高止まりなどのコスト増加や物価上昇が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは『WSR』＝『ワールド サプライジング リゾート宣言』（世界へ、ありえないほどの驚きの、超感動を提供する）を経営スローガンとして掲げ、マーケット特性にマッチしたプレミアム・スイーツの提供、売場・接客サービスの向上、イベント・キャンペーン展開の推進などに取り組んでまいりました。また、当面の重点施策として首都圏エリアでのWSR展開の推進、インバウンド対策の強化、アジアを中心とした海外における事業モデルの構築などに注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,542百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は349百万円（前年同期比73.4%増）、経常利益は367百万円（前年同期比78.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は222百万円（前年同期比99.9%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増した台湾北壽心股份有限公司を連結の範囲に含めております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ケイシイシイ

「ルタオ」を擁するケイシイシイは、リニューアルした主力商品「ドゥーブルフロマージュ」のキャンペーン展開の推進、新千歳空港をはじめとする道内卸展開の強化などに注力いたしました。また、海外展開では、本年4月に韓国のパートナー企業とライセンス契約を締結し、ソウル・江南エリアにルタオ1号店がオープンいたしました。その結果、売上高は、1,881百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は88百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

② 寿製菓

寿製菓は、山陰地区が出雲大社遷宮効果の反動減の影響は一巡したものの依然として低調に推移いたしました。一方、「ラングドシャ」や「フィナンシェ」など焼き菓子系商品を中心に代理店及びグループ会社向け売上が堅調に推移した結果、売上高は1,891百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は127百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

③ 販売子会社

販売子会社は、駅・空港・SAなどの交通拠点チャンネルを中心に、主力商品及び新商品の売場獲得などに注力いたしました。主要地域では、関西地区が関西国際空港での販売強化などにより増収となったほか、福岡地区においても、前期投入の新商品「まっかな苺のラングドシャ」の拡販強化が寄与し堅調に推移しました。その結果、売上高は1,124百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は50百万円（前年同期比71.3%増）となりました。

④ 九十九島グループ

九十九島グループは、3年目を迎えたフレンチトースト専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」の認知度拡大に注力いたしました。業績面では、佐世保ハウステンボス地区の売上が堅調に推移したことなどにより、売上高は792百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は2百万円（前年同期比279.2%増）となりました。

⑤ 但馬寿

但馬寿は、通信販売が堅調に推移した一方、グループ向け売上の減少などにより売上高は225百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

⑥ シュクレイ

首都圏において5ブランド16店舗の小売展開及び卸展開のシュクレイは、「ザ・メープルマニア」をはじめとする各ブランド訴求力の向上を図るため、イベントによる店頭販促の充実、催事の推進、接客力の強化などに努め、好調に推移しました。その結果、売上高は、755百万円（前年同期比41.8%増）となり、営業利益は56百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。当第1四半期連結会計期間において台湾北壽心股份有限公司を連結の範囲に含めたことにより、売上高は48百万円（前年同期比486.3%増）となり、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失22百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、14,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ388百万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金の減少(112百万円)、受取手形及び売掛金の減少(318百万円)、商品及び製品の増加(73百万円)、流動資産におけるその他の増加(138百万円)などの要因によるものです。

負債は5,559百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金の減少(150百万円)、未払法人税等の減少(106百万円)、賞与引当金の減少(200百万円)、流動負債におけるその他の増加(446百万円)などの要因によるものです。

純資産は8,747百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円減少いたしました。主な要因は四半期純利益の計上による増加(222百万円)、配当金の支払いによる減少(414百万円)、当第1四半期連結会計期間において台湾北壽心股份有限公司を連結の範囲に含めたことによる利益剰余金の減少(58百万円)及び為替換算調整勘定の計上(11百万円)などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ増減は無く、61.1%となり、1株当たり純資産は843円24銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本資料発表日現在におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回公表数字(平成27年5月13日付「平成27年3月期決算短信」)からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,755,418 | 2,643,281 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,337,691 | 2,019,240 |
| 商品及び製品 | 639,392 | 712,862 |
| 仕掛品 | 32,110 | 28,176 |
| 原材料及び貯蔵品 | 353,414 | 344,256 |
| その他 | 510,800 | 649,748 |
| 貸倒引当金 | △22,665 | △27,076 |
| 流動資産合計 | 6,606,160 | 6,370,487 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,091,537 | 3,090,854 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 847,733 | 857,943 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 247,631 | 243,959 |
| 土地 | 2,500,667 | 2,500,667 |
| リース資産(純額) | 6,475 | 5,194 |
| 建設仮勘定 | 11,385 | 10,850 |
| 有形固定資産合計 | 6,705,428 | 6,709,467 |
| 無形固定資産 | 102,565 | 98,837 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,297,908 | 1,144,240 |
| 貸倒引当金 | △17,044 | △16,569 |
| 投資その他の資産合計 | 1,280,864 | 1,127,671 |
| 固定資産合計 | 8,088,857 | 7,935,975 |
| 資産合計 | 14,695,017 | 14,306,462 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 807,578 | 742,560 |
| 短期借入金 | 1,450,000 | 1,300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 258,672 | 224,874 |
| 未払法人税等 | 241,871 | 135,115 |
| 賞与引当金 | 441,723 | 241,166 |
| その他 | 1,059,689 | 1,505,892 |
| 流動負債合計 | 4,259,533 | 4,149,607 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 316,513 | 269,204 |
| 退職給付に係る負債 | 920,639 | 932,580 |
| その他 | 219,136 | 207,840 |
| 固定負債合計 | 1,456,288 | 1,409,624 |
| 負債合計 | 5,715,821 | 5,559,231 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,217,800 | 1,217,800 |
| 資本剰余金 | 1,323,161 | 1,323,161 |
| 利益剰余金 | 6,378,767 | 6,128,250 |
| 自己株式 | △543 | △672 |
| 株主資本合計 | 8,919,185 | 8,668,539 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 60,011 | 67,100 |
| 為替換算調整勘定 | — | 11,592 |
| その他の包括利益累計額合計 | 60,011 | 78,692 |
| 純資産合計 | 8,979,196 | 8,747,231 |
| 負債純資産合計 | 14,695,017 | 14,306,462 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 5,000,635 | 5,542,092 |
| 売上原価 | 2,416,452 | 2,594,631 |
| 売上総利益 | 2,584,183 | 2,947,461 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,382,542 | 2,597,834 |
| 営業利益 | 201,641 | 349,627 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 38 | 45 |
| 受取配当金 | 1,614 | 2,291 |
| 受取地代家賃 | 4,332 | 4,011 |
| 受取補償金 | — | 7,581 |
| その他 | 8,132 | 10,190 |
| 営業外収益合計 | 14,116 | 24,118 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,709 | 3,755 |
| その他 | 4,054 | 2,072 |
| 営業外費用合計 | 9,763 | 5,827 |
| 経常利益 | 205,994 | 367,918 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 1,809 |
| 固定資産売却益 | — | 80 |
| 特別利益合計 | — | 1,889 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 2,144 |
| 固定資産除却損 | 1,256 | 8,438 |
| 特別損失合計 | 1,256 | 10,582 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 204,738 | 359,225 |
| 法人税等 | 93,477 | 136,788 |
| 四半期純利益 | 111,261 | 222,437 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 111,261 | 222,437 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 111,261 | 222,437 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,075 | 7,089 |
| 為替換算調整勘定 | — | 11,592 |
| その他の包括利益合計 | 8,075 | 18,681 |
| 四半期包括利益 | 119,336 | 241,118 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 119,336 | 241,118 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため台湾北壽心股份有限公司を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|--------------|---------|---------|-----------|
| | ケイシー シー | 寿製菓 | 販売子会社 | 九十九島 グループ | 但馬寿 | シュクレイ | 計 |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,550,525 | 1,147,268 | 1,029,139 | 666,119 | 67,527 | 532,414 | 4,992,992 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 215,684 | 603,962 | 448 | 68,835 | 167,167 | — | 1,056,096 |
| 計 | 1,766,209 | 1,751,230 | 1,029,587 | 734,954 | 234,694 | 532,414 | 6,049,088 |
| セグメント利益 (△は損失) | 110,879 | 104,895 | 29,569 | 662 | 7,402 | △3,789 | 249,618 |

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損益 計算書計上額(注)3 |
|-----------------------|-------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,643 | 5,000,635 | — | 5,000,635 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 612 | 1,056,708 | △1,056,708 | — |
| 計 | 8,255 | 6,057,343 | △1,056,708 | 5,000,635 |
| セグメント利益 (△は損失) | △22,301 | 227,317 | △25,676 | 201,641 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額△25,676千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額145,004千円、セグメント間取引消去額2,953千円、たな卸資産の調整額△3,930千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△169,703千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|--------------|---------|---------|-----------|
| | ケイシイ シイ | 寿製菓 | 販売子会社 | 九十九島 グループ | 但馬寿 | シュクレイ | 計 |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,658,323 | 1,184,183 | 1,123,362 | 703,649 | 69,987 | 755,118 | 5,494,622 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 223,098 | 707,618 | 1,411 | 88,927 | 155,306 | — | 1,176,360 |
| 計 | 1,881,421 | 1,891,801 | 1,124,773 | 792,576 | 225,293 | 755,118 | 6,670,982 |
| セグメント利益 (△は損失) | 88,818 | 127,850 | 50,644 | 2,510 | △3,832 | 56,932 | 322,922 |

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損益 計算書計上額(注)3 |
|-----------------------|-------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 47,470 | 5,542,092 | — | 5,542,092 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 931 | 1,177,291 | △1,177,291 | — |
| 計 | 48,401 | 6,719,383 | △1,177,291 | 5,542,092 |
| セグメント利益 (△は損失) | △12,856 | 310,066 | 39,561 | 349,627 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。また、台湾北壽心股份有限公司は、重要性が増したことにより当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含め、「その他」に加えております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額39,561千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額208,368千円、セグメント間取引消去額3,655千円、たな卸資産の調整額△2,109千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,353千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。